

令和3年度 学校評価書 (計画段階・実施段階)

福岡県立三井高等学校

| 自己評価   |   |   |        |        | 学校関係者評価 |       |   |          |   |         |  |   |   |
|--|---|---|--------|--------|---------|-------|---|----------|---|---------|--|---|---|
| 学校運営計画(4月)   |   |   |        | 評価(総合) |         | 自己評価は |   |          |   |         |  |   |   |
| 学校運営方針   | 『夢へチャレンジ！ 未来を拓くMII for me』<br>「MII for me」チーム三井の「スローガン」のもと、強い使命感と連帯感をもって一丸となり、生徒一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細やかな指導で個性を伸ばし、自己実現・夢実現を可能にする意図的・計画的な教育活動を組織的に推進する。 |   |        | A      |         |       | A   |          |   |         |  |   |   |
| 昨年度の成果と課題  | 年度重点目標  | 具体的目標   |        |        |         | A     |   | A        |   |         |  |   |   |
| ○中途退学の防止については、担任と修学支援担当やsc、ssw、訪問相談員との連携を深めることで減少に転じた。<br>○キャリア教育については、コロナ禍の中で実施できるような形態を工夫し適宜実施できた。<br>○新型コロナウイルス感染症等に対する対策マニュアルを作成し学校全体での確な対応ができた。<br>●観点別評価については、評価基準・規準の見直しの必要性がある。<br>●中学校訪問等、学校の広報活動については、コロナ禍の中十分に成果を上げることができなかった。組織的、計画的に時期をとり実施する必要がある。 | (1) 自ら考え判断し、自分の行動に責任を持ち、確かな学力を身に付けた生徒の育成  | <ul style="list-style-type: none"> <li>福岡県学校教育振興プラン「銀ほめ福岡メソッド」を踏まえ、生徒が自律的に成長するための原動力となる「自尊心」「チャレンジ精神」等の人格的資質を育成するための指導の充実を図る。</li> <li>「三井高生 授業開始心得」を全職員で徹底し、意欲的に授業に取り組む態度を培う。</li> <li>基礎力診断テストの結果を検証し、教務課・進路指導課が連携して学力向上に向け、実態に応じた学習方法を工夫する。</li> <li>習熟度による弾力的なクラス編成を行い学力の定着・向上を図るとともに、課外授業等の充実により希望進路の実現を図る。</li> </ul> |        |        |         |       |   |          | A | A       |  |   |   |
|  | (2) 友情を深め、お互いの人格を尊重する生徒の育成  | <ul style="list-style-type: none"> <li>「三井高生3つの約束」を遵守させ、よりよく社会で力を発揮することができる生徒の育成を図る。</li> <li>すべての教育活動を通して人権教育を推進し、校内外の研修や地域の学習会・行事等に積極的に参加することを通して人権尊重の精神を高め、生徒の人権意識や人権感覚を育成する。</li> </ul>   |        |        |         |       |   |          |   |         | A  | A   |   |
|  | (3) 心身ともに健康で、何事においても最後までやり抜く生徒の育成   | <ul style="list-style-type: none"> <li>学校行事等を通じて、鍛えて褒めることにより「できる」ことを実感させ、感動を得ることで自信をもたせる。</li> <li>部活動の活動内容の充実と加入率の向上(目標75%)を目指すとともに、強化部及び活性化指定部活動の実績向上を図る。</li> </ul>  |        |        |         |       |   |          |   |         |  |   | A |
|  | (4) 教職員の資質及び組織力の向上  | <ul style="list-style-type: none"> <li>研究授業や公開授業に取り組むとともに、校内研修の充実、校外研修への積極的参加に努め、教科、分掌や学年を超え、教職員一丸となって生徒の自己実現を図るための組織力を高める。</li> <li>働き方改革を推進し、健康でやりがいをもって働くことができる環境づくりに努め、教育活動の質を維持・向上させる。</li> </ul>  |        | A      | A       |       |   |          |   |         |  |   |   |
|  | (5) PTA、同窓会、小・中学校、地域との連携及び広報活動の充実   | <ul style="list-style-type: none"> <li>学校パンフレットやホームページの充実、中学校訪問等を積極的にを行い、生徒の学習活動、学校行事及び部活動等の様子を積極的に配信して広報活動を強化する。</li> <li>小・中学校及び地域との連携を更に深めるため、協働した活動の取組等を積極的に進める。</li> </ul>   |        |        |         | A     | A   |          |   |         |  |   |   |
| 評価項目   | 具体的目標   | 具体的方策   | 評価(3月) |        |         |       |   | 次年度の主な課題 |   | 項目ごとの評価 |  |   |   |
| 教科指導   | 生徒の習熟度に応じた基礎・基本の定着と確かな学力の育成   | <ul style="list-style-type: none"> <li>少人数授業や習熟度別授業を効果的に活用し、基本的な知識・技能を身に付けさせる。</li> <li>進路支援部と協力し、基礎力診断テストを活用して個々の学力伸長を図る。</li> </ul>   | B      |        |         |       |   | B        | A | A       | <ul style="list-style-type: none"> <li>修学支援と協力し、配慮が必要な生徒への対応は十分にできたが、全体的に生徒の基礎学力を身につけさせることに課題が残った。そのため、新型コロナウイルス感染症予防と新たな学びを両立させる授業を創り上げる一層の工夫改善が必要であり、来年度実施のオンライン学習教材の活用が最重要課題となる。また、観点別評価について、生徒の実態に合わせて評価基準、規準の見直しの必要性がある。図書館については工事に伴い場所が移動するので、授業等での使用の仕方を工夫する必要がある。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>授業開始前のあいさつなど、基本的な授業規律の指導を引き続き徹底してもらいたい。</li> <li>オンライン授業やオンライン学習教材の活用を進めてもらいたい。</li> <li>アクティブラーニングの一環として、図書館での調べ学習を推進してはどうか。</li> </ul> |   |
|  | 中途退学者の防止  | <ul style="list-style-type: none"> <li>教科担任連絡会等とおとして、問題を抱える生徒一人一人に必要な支援や修学状況を全職員で共有し、確認する。</li> <li>遅刻・欠席の多い生徒について、遅刻届や欠課時数報告用紙を利用し、個別の対応を充実させる。</li> </ul>   | A      |        |         |       |   | A        |   |         |  |   |   |
|  | 新学習指導要領に則った教育課程への準備   | <ul style="list-style-type: none"> <li>教科書採択に向けて各教科と協議を重ねる。</li> <li>本校生徒の実情に合わせて評価基準・規準を見直す。</li> </ul>  | A      | A      |         |       |   |          |   |         |  |   |   |
|  | 図書教育の推進   | <ul style="list-style-type: none"> <li>朝の活動の充実、図書委員会の活性化を通して、生徒の読書の推進を図る。</li> <li>教科・総合的な探求の時間での図書館利用を推進する。</li> </ul>   | B      | B      |         |       |   |          |   |         |  |   |   |
| 生徒指導   | 基本的生活習慣の確立とマナー指導の徹底   | <ul style="list-style-type: none"> <li>「三井高生3つの約束」を自分たちが守るべき約束として捉えさせ、基本的生活習慣のさらなる確立を図る。</li> <li>登校指導、服装指導、交通安全指導等とおして、生徒の規範意識の育成を目指す。</li> <li>アンケート調査や個人面談等を丁寧に行い、いじめへの迅速な対応を行う。</li> </ul>  | B      | A      | A       | A     | <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の服装、身だしなみに関しては、まだまだ課題がある。次年度、継続して正しい身だしなみや振舞い方について、担任や学年と十分な連携をとるとともに、三井高マナーアップ月間を定期的に設定し、根気強く指導していきたい。安全指導の推進や大きな災害等への対応については、次年度、重要な課題の1つとして取り組みたい。生徒会活動については、来年度もコロナの影響が考えられるが、十分な感染症対策を講じ、生徒の安心・安全を確保しながら学校行事に取り組み、多くの生徒に学校での充実感を持たせたい。</li> </ul> |          |   |         |  |   |   |
|  | 地域連携と防災・危機管理  | <ul style="list-style-type: none"> <li>市や関係機関と連携をし、生徒の安全指導の推進や大きな災害等への対応策を検討する。</li> <li>地域のイベントや行事等に、ボランティアとして積極的に参加をする。</li> </ul>  | B      | B      |         |       |   |          |   |         |  |   |   |
|  | 生徒会活動の活性化及び部活動加入率75%の達成   | <ul style="list-style-type: none"> <li>部活動の活性化をとおし、多くの生徒に明確な目標を持たせ、社会に貢献できる人材の育成を目指す。</li> <li>生徒会活動を充実させ、生徒の自主性を育成し、多くの生徒に学校での充実感を持たせる。</li> </ul>   | A      | A      |         |       |   |          |   |         |  |   |   |
| 進路指導   | 3年間を見通した系統的なキャリア教育・進路指導の充実  | <ul style="list-style-type: none"> <li>上級学校や職種を知り、早期に自己の適性に合った進路目標を立てさせる。(第1学年)</li> <li>自己の適性に合った、希望進路に対応するための学力の定着・向上を図る。(第2学年)</li> <li>全員の希望進路を実現させ、社会人としての常識やコミュニケーション能力を身に付けさせる。(第3学年)</li> </ul>   | A      | A      | A       | A     | <ul style="list-style-type: none"> <li>日程の変更はあったものの、具体的目標に沿って各学年の活動が実施できた。次年度は更に内容の充実を図りながら、計画的・組織的に実施していきたい。また、学年の進路担当者会議を時間割に組み入れたため、進路支援部内で、学年を越えた連絡・相談ができた。次年度も同様に実施したい。不適正な採用選考の事象においては、関係機関と連携して対応することができた。</li> </ul>  |          |   |         |  |   |   |
|  | 一人一人に応じたきめ細やかな進路指導の充実   | <ul style="list-style-type: none"> <li>基礎力診断テストの結果に基づく担任との個人面談や自己評価を実施する。</li> <li>進路支援部内及び各学年・各分掌と連携し、組織的に取組を行う。</li> <li>公正な採用選考及び入試の実現に向けた取組について、関係機関・団体と連携した取組を行う。</li> </ul>   | B      | A      |         |       |   |          |   |         |  |   |   |
|  |   |   | A      | A      |         |       |   |          |   |         |  |   |   |
|  |   |   | A      | A      |         |       |   |          |   |         |  |   |   |

|   |                               |   |   |   |   |  |  |
|---|-------------------------------|---|---|---|---|--|--|
| 研修ICT   | 校内及び校外研修の充実                   | 本校が抱える諸課題及び将来を見据えた研修会を、他の分掌と連携して企画・実施する。  | A | A | A | 教員も生徒もChromebookを活用する授業アンケートを行った。ICT支援員と連携し、考察のための集計表を検討するなど授業改善に向けて取り組んだ。今後も継続して実施する。人権・同和教育研修会では、年間計画以外でも必要な研修を企画し実施することができた。        |  |
|   |                               | 教員の資質向上のため、授業アンケートや公開授業を推進し、教科指導力を高める。  | A |   |   |  |  |
|   |                               | 人権・同和教育研修の推進・充実を図り、教職員の人権意識や人権感覚を高める。   | A |   |   |  |  |
|   | 授業改善とオンライン学習推進                | Chromebookや電子黒板など令和2年度に導入されたICT機器を授業で活用できるよう研修会を企画・実施する                         | A | A |   |  |  |
|   |                               | 生徒育成部と連携して情報社会での行動に責任をもつことや、危険回避など情報を正しく安全に利用できることを目指し、生徒と職員全員が参加する研修会を企画・実施する。 | A |   |   |  |  |
|   |                               | ICT機器や講義室等利用簿を作成し、計画的な利用を促進する。  | A |   |   |  |  |
| 保健環境  | 心身の健康管理についての取組の充実             | SC、SSW、訪問相談員と教職員が十分な連携をとり、教育相談活動を充実させ、生徒が安心して学校生活を送ることができるよう支援する。               | A | A | A | SC、SSWとの連携は十分に行うことができ、特にSCは生徒への講演会も行っていただき、心の健康を保つ取り組みを積極的に行うことができた。   |  |
|   |                               | 健康調査を実施し、生徒の心身の健康状態について全職員で情報を共有し、生徒の学校生活に有効活用する。                               | B |   |   |  |  |
|   |                               | 性と心の健康相談や感染症予防の啓発活動を行い、生徒の心身の健康に対する意識の向上を図る。                                    | A |   |   |  |  |
|   | 校内外の美化活動の充実                   | 日々の清掃活動を充実させ、特にゴミの分別の徹底を目指す。  | A | A |   | A  | 日々の清掃活動については、多くの生徒が積極的に取り組むことができるようになっている。来年度は地域清掃活動を全学年で実施できるよう、学年と連携をしていきたい。                 |
|   |                               | 大掃除や三井高クリーンアップ週間を充実させ、生徒の美化意識を高める。  | A |   |   |  |  |
|   |                               | 各学年による地域清掃活動を充実させる。   | B |   |   |  |  |
| 広報庶務  | 学校行事等の円滑な実施および検討・改善           | 要項や案内文書等を迅速に提示し、学校行事等を円滑に実施する。  | B | B | B | 昨年度と同様な形式で実施できない部分もあり、新たな取組みを行う等検討が必要な場面が多かった。次年度に向けて、今年度の取組みを基準としてさらなる検討・改善を図っていく。  |  |
|   |                               | 三井高発表会について検討・改善を図り、活性化につなげていく。  | A |   |   |  |  |
|   | PTA活動の充実                      | PTA活動行事を精選し、活性化を図ることで、次年度の参加者確保につなげていく。   | B | B |   | PTA行事は状況に応じて実施できたが、活動自体最小限となったため、今後も精選が必要である。安全安心メールや学校HPでの情報発信は定期的にも実施できたので、継続して行う。   |  |
|   |                               | 安全安心メール、学校HP等を活用し、保護者への情報発信を充実させる。  | A |   |   |  |  |
|   | 広報活動の充実                       | 学校パンフレットや学校HPを充実させ、中学校訪問等で活用して、生徒募集へとつなげる。                                      | B | B |   | 体験入学では参加者が増加したこともあり、来年度は内容をさらに充実させる必要がある。学校パンフレットや学校HPは生徒の声等改善を図りつつ、さらにSNSを活用して学校の魅力を配信し、生徒募集に繋げていきたい。                                 |  |
|   |                               | 「体験入学・部活動見学会・進路相談会」を充実させ、生徒募集へとつなげる。  | B |   |   |  |  |
|   | 保護者・地域と連携した学校行事の活性化           | 体育祭や三井高発表会など保護者や地域に開かれた学校行事の充実を図る。  | B | B |   | B  | 体育祭や三井高発表会では、保護者公開で実施できたので今後も保護者との繋がりを大切にしていこう。地域行事への参加はできない状況であったので、次年度は地域との関わりを再度深めていく必要がある。 |
|   |                               | 野田宇太郎生誕祭や松崎地区文化祭などと連携して行事を行い、地域への発信を図る。   | B |   |   |  |  |
| 人権・同和教育                                       | 人権・同和教育に関する知的理解と人権感覚の向上       | 教職員の人権に関する知識理解と人権感覚の向上のため校内・校外研修へ積極的に参加する。                                      | B | A | A | 外部講師や本校職員による校内研修を実施し、教職員の知的理解と人権感覚の向上を図ることができた。校外研修に関しては、中止や延期となるなか、多くの先生方が参加された。次年度は、校外研修や地域の活動について校内の先生方に情報共有などの形で還元できる取組を実施していきたい。  |  |
|   |                               | 各地区における連絡会や地域で開催される諸行事へ積極的に参加する。  | A |   |   |  |  |
|   |                               | 人権教育関係の図書や資料の充実とその周知を行い、人権・同和教育学習の改善や新たな取り組みに活かす。                               | A |   |   |  |  |
|   | 個別的な人権課題や生徒の実態を踏まえた人権・同和教育の推進 | 人権・同和教育推進委員会を定期的にも実施し、情報交換・共有、指導・支援方法等の確認を行う。                                   | A | A |   | 人権・同和教育推進委員会が支援を必要とする生徒について協議を行い、SSWやSCとも連携を取りながら生徒支援を行うことができた。また、人権・同和教育学習では、新たに性の多様性について学習するなどの改善を図った。引き続き、次年度に向けて、取組を評価し改善を行っていきたい。 |  |
| 生徒理解のために家庭や中学校、関係機関との密な連携を図り、情報共有や生徒指導・支援を行う。 |                               | B   |   |   |   |  |  |
| 事務部   | 教育環境の整備及び改善                   | 生徒の実態把握に努め、各学年の課題を踏まえて、3年間を見通した人権・同和教育学習を実施する。                                  | A | A | A | 設備の点検等で迅速に危険を除去することができた。<br>工事及学校行事予定を各所に提示し、教育活動に支障がないようにできた。   |  |
|   |                               | 定期的な施設設備の点検により、校内危険箇所等の迅速な把握及び改善に努める。   | A |   |   |  |  |
|   |                               | 本年度から3年間、大規模改造・改修工事を実施する予定であり、教育活動に支障なく実施できるよう各分掌との情報共有を徹底する。                   | A |   |   |  |  |

|                 |  |
|-----------------|--|
| A               | ・ICT機器を活用した授業内容や指導方法の工夫を今後も進めてもらいたい。   |
| A               | ・性犯罪の被害者にならないための指導の徹底をお願いしたい。<br>・小郡駅周辺の清掃活動は大変よい取組である。新型コロナの関係もあるが、可能になった場合はぜひお願いしたい。   |
| A               | ・新型コロナの影響で様々な制限のある中、できる範囲内で十分取り組んでいるといえる。その点を考慮するとA評価でも良いのではないかと。評価が厳しいのでは。<br>・三井高発表会はたいへん素晴らしかった。<br>・SNSを活用した情報発信や広報活動は大変有効だと考える。ぜひ検討してほしい。 |
| A               | ・生徒に正しい人権感覚を身に付けさせ、いじめ防止に取り組んでほしい。<br>・生徒理解に努め、一人一人の生徒を大切に、全ての生徒が安心して楽しく学校生活を送れる環境づくりを進めてほしい。  |
| A               | 学校安全の管理については、定期的な安全点検が行われおり、引き続き事故防止等に取り組んでほしい。  |
| 評価項目以外のものに関する意見 |  |
| 特になし            |  |

### 自己評価及び学校関係者評価を踏まえた今後の改善策

- ・教科指導：○基礎学力の確実な定着と学習意欲を高める授業規律の徹底 ○ICTを活用した授業内容及び指導方法の工夫改善 ○図書館利用の推進
- ・生徒指導：○基本的生活習慣や身だしなみなど家庭と連携した指導の充実 ○その場での指導等の組織的・積極的生徒指導の推進 ○登下校指導の徹底
- ・進路指導：○3年間を見通した系統的なキャリア教育の充実 ○希望進路に応じた指導の充実 ○保護者や地域と連携した取組の推進
- ・保健環境：○美化委員会の活性化と美化意識の高揚を図る指導の充実
- ・その他：○ホームページの内容充実 ○SNSを活用した情報発信・広報活動の充実